

令和 3 年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホーム

【総合的な目標の総括】

入居者のこれまでの暮らしが施設で少しでも継続できるよう、生活歴や嗜好、家族関係等を聴き取る機会を設け、関係職種で共有し、ケアに反映させることができた。

フラワーホームでの施設看取り率が 95%と大半の利用者が施設での看取りであった。

看取り介護期において、嘱託医、家族、施設の関係職種と連携を図り、その都度話をする機会を設け、利用者・家族の意向を尊重し最期まで地域で生活できる支援ができたと考える。

入居者の転倒などの骨折による入院が 5 名だった。事故防止委員会が中心となり、その日のうちにカンファレンスを開催し対策を検討するようにした。また、事故防止・安全対策委員会では毎月の委員会の開催を行った。

入居者と家族の面会は、地域の感染症の状況に応じて面会制限を一部解除したり、オンライン面会・窓越し面会をしたり等の手段を講じて、家族とのつながりを保った。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

行事や外出支援がコロナ禍により、思うように実施できない状態が続いたが、感染症対策を講じ、少しでも個別で対応することにより、できることを模索して支援することができた。

新型コロナウイルス感染症に関して、勇美記念財団からの助成を活用し、セミナーを開催し職員に対する最新情報の発信や実際コロナ感染があった施設のその時の状況や対応など、情報の共有できた。これまでより感染症対策への意識を高めることができた。

病状の悪化や認知症の進行等により食への意欲が低下したり、理解が乏しくなったりした入居者と真摯に向き合い、管理栄養士が主となり、関係職種と協同して、本人の状態や意向に配慮しながら最期まで支援することができた。

職員教育については、テーマ別研修会参加においては、参加の意思がある方を募り、自発的に希望の研修へ参加できるようにした。また、県老協主催の研修会を始めとする外部研修にもオンラインで受講してもらい、知識と技術の向上を図ることができた。

介護リーダーを対象とした定例ミーティングを行い、リーダーと管理職で各部署の状況の共有を行い、より良い職場環境になるよう努めることができた。

人材確保に関しては既存特養の介護職の数を常勤換算で 21.7、ショートステイで 10.3 確保できた。フラワーホーム(ショートステイを含む)の介護職員の令和 3 年度の介護職離職者は常勤換算で 2.0 だった。

【収益的活動】

多床室の年間ベッド稼働率は 97.6%で当初目標を 1.4%下回り、予算達成比率 97.9%だった。(補正なしの場合)ショートステイは年間ベッド稼働率 85.2%で当初目標を 14.8%下回り、予算達成比率 82.8%だった。(補正なしの場合)

入所施設における看取り介護加算については、嘱託医・看護職等の関係職種との連携を図り、算定率 100%(死亡退所者 19 人中 19 人算定、入院先で死亡の方含まず)と高い算定率だった。

【支出的活動】

ハグ(移乗サポートロボット)を導入し、ノーリフト(持ち上げない介護)を浸透させ、介護者・入居者共に身体負担軽減の一役を担った。また、入居者のできる能力の維持を図る為、多様な支援ができるように、個々の状態に応じた福祉用具を導入した。

【地域貢献活動】

介護サポーターとして、有償で地域の方 10 名に職員のサポートをお願いし就業してもらった。

企業ワークショップにて、キャリア教育の一環で地域の学校へ訪問した。

令和 3 年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホームユニット

【総合的な目標の総括】

入居者のこれまでの暮らしが施設で少しでも継続できるよう、生活歴や嗜好、家族関係等を聴き取る機会を設け、関係職種で共有し、ケアに反映させることができた。

フラワーホームユニットでの大半の入居者が施設での看取りであった。看取り介護期において、比較的安定している時期から嘱託医、家族、施設の関係職種と連携を図り、その都度、話をする機会を設け、利用者・家族の意向を尊重し、利用者が入院することなく最期まで地域で生活できる支援ができたと考える。1 件は、最期の時を本人の自宅で迎える支援もできた。

コロナ禍で外部との関わりを構築することが、ほとんどできなかった。入居者と家族の面会は、地域の感染症の状況に応じて、面会制限を一部解除したり、オンライン面会・窓越し面会等の手段を用いて、家族とのつながりを保った。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

特殊浴槽での入浴支援時、福祉用具を活用したノーリフト(持ち上げない介護)を継続的に実践することができた。

行事や外出支援がコロナ禍により、思うように実施できず、制限された状態が続いた。そのような状況下であったが、感染症対策を講じ、少しでも個別で対応することにより、できることを模索して、支援することができた。

新型コロナウイルス感染症に関して、勇美記念財団からの助成を活用し、セミナーを開催し職員に対する最新情報の発信や実際コロナ感染があった施設のその時の状況や対応など、情報の共有できた。これまでより感染症対策への意識を高めることができた。

食欲が低下した入居者へ好みの食べ物を提供したり、嗜好に合わせた個別の食べ物を提供したりするなど、都度柔軟な対応ができた。

職員教育については、テーマ別研修会参加においては、参加の意思がある方を募り、自発的に希望の研修へ参加できるようにした。また、県老協主催の研修会を始めとする外部研修にもオンラインで受講してもらい、知識と技術の向上を図ることができた。

介護リーダーを対象とした定例ミーティングを行い、リーダーと管理職で各部署の状況の共有を行い、より良い職場環境になるよう努めることができた。

人材確保に関してはユニットの介護職の数を常勤換算で 18.0 確保できた。フラワーホームユニットの介護職員の令和 3 年度の介護職離職者は常勤換算で 5.0 だった。

【収益的活動】

年間ベッド稼働率は 99.5% で当初目標を 0.5% 上回り、予算達成比率 100.1% だった。

入所施設における看取り介護加算については、嘱託医・看護職等の関係職種との連携を図り、算定率 100% (死亡退所者 4 人中 4 人算定) と高い算定率だった。現状算定できている加算については、職員数の確保と看護職・介護福祉士・管理栄養士・機能訓練指導員・歯科衛生士等の専門職の配置により継続して算定することができ収入に結び付けられた。

【支出的活動】

ハグ(移乗サポートロボット)を導入し、ノーリフト(持ち上げない介護)を浸透させ、介護者・入居者共に身体負担軽減の一役を担った。また、入居者のできる能力の維持を図る為、多様な支援ができるように、個々の状態に応じた福祉用具を導入した。

【地域貢献活動】

介護サポーターとして、有償で地域の方 10 名に職員のサポートをお願いし就業してもらった。

企業ワークショップにて、キャリア教育の一環で地域の学校へ訪問した。

令和3年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホーム

延べ利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	231	528	728	1,487
5月	0	0	224	505	755	1,484
6月	0	0	240	502	720	1,462
7月	0	0	248	528	735	1,511
8月	0	0	248	558	722	1,528
9月	0	0	248	510	727	1,485
10月	0	0	265	572	670	1,507
11月	0	0	298	503	622	1,423
12月	0	0	311	573	618	1,502
1月	0	0	270	611	646	1,527
2月	0	0	272	525	588	1,385
3月	0	0	310	579	632	1,521
合計	0	0	3,165	6,494	8,163	17,822

実利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	8	19	26	53
5月	0	0	8	18	27	53
6月	0	0	8	17	24	49
7月	0	0	8	18	24	50
8月	0	0	8	18	24	50
9月	0	0	9	17	25	51
10月	0	0	10	19	25	54
11月	0	0	11	19	22	52
12月	0	0	11	19	20	50
1月	0	0	9	20	21	50
2月	0	0	10	19	21	50
3月	0	0	10	20	21	51
合計	0	0	110	223	280	613

令和3年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

延べ利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	90	330	480	900
5月	0	0	93	341	496	930
6月	0	0	63	330	480	873
7月	0	0	62	367	496	925
8月	0	0	62	371	496	929
9月	0	0	60	360	480	900
10月	0	0	82	399	446	927
11月	0	0	90	389	420	899
12月	0	0	93	403	426	922
1月	0	0	93	400	429	922
2月	0	0	84	357	392	833
3月	0	0	93	403	434	930
合計	0	0	965	4,450	5,475	10,890

実利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	3	11	16	30
5月	0	0	3	11	16	30
6月	0	0	3	11	16	30
7月	0	0	2	12	16	30
8月	0	0	2	13	16	31
9月	0	0	2	12	16	30
10月	0	0	3	14	16	33
11月	0	0	3	14	14	31
12月	0	0	3	13	14	30
1月	0	0	3	13	14	30
2月	0	0	3	13	14	30
3月	0	0	3	13	14	30
合計	0	0	33	150	182	365

令和3年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	1	入職式・辞令交付式			
	9		認知症ワークショップ		
	6	開園記念日			
	23		認知症ワークショップ コロナウイルスワクチンについて	勇美記念財団コロナセミナー	
5	26				
	19	企業ワークショップ(溝辺中)			
	20	法要法話			加来先生
	27~28			痰吸引等実施のための研修 勇美記念財団コロナセミナー	
6	28				
	2~3			痰吸引等実施のための研修 県老施協 理事長施設長研修会	
	8		身体的拘束等適正化検討委員会	実習指導者講習会	
	10				
	11~12				
	16	陵南中(美化委員生徒)苗受け取り		勇美記念財団コロナセミナー 県老施協スキルアップリーダー研修 痰吸引等実施のための研修	陵南中(美化委員生徒)
	18				
	23		誰の為に、何の為に		
7	25				
	2~3			実習指導者講習会 県老施協人材育成研修会 勇美記念財団コロナセミナー 認知症介護実践リーダー研修	
	6				
	8				
	13~16				
	21	法要法話	令和3年度鹿児島県老人福祉協議会理事会・施設長会にて 令和3年度介護報酬改定・LIFEについて	県老施協精神疾患と認知症研修会	加来先生
8	26				
	27				
	3~6			認知症介護実践リーダー研修 痰吸引等実施のための研修	
	4	職員健康診断			
	5				
	6			勇美記念財団コロナセミナー ファーストステップ研修 メンタルヘルスと高齢者虐待防止研修会	
9	10~11		行動分析による認知症ケア		
	18				
	25				
	7~8			ファーストステップ研修 認知症介護実践者研修	
	7~17		身体的拘束等適正化検討委員会		
	10				
	17	敬老祝賀会		勇美記念財団コロナセミナー	
	24		精神疾患と認知症研修	認知症介護実践リーダー研修 権利擁護推進員養成研修	
10	27				
	28~29				
	4~6			ファーストステップ研修	
	5	陵南小学校2年生職場見学 集合指導監査(老人福祉法)	メンタルヘルス及び高齢者虐待防止研修 県老施協 摂食嚥下障害と認知症ケア研修会	認知症介護実践者研修	陵南小学校2年生
11	20				
	25				
	26				
	4~5			ファーストステップ研修 かごしま介護技能コンテスト2020 県老施協 看取り研修会	
	9		看取り期の食支援		加来先生
12	16				
	18				
	25				
	7~8			ファーストステップ研修 認知症介護実践者研修 権利擁護推進員養成研修	
	7~10		身体的拘束等適正化検討委員会		
1	9			認知症介護実践者研修 老施協リスクマネジメント研修	
	10				
	14		より良い看取りが出来るようになる		
	24				
2	13~14			ユニットリーダー研修 ユニットケア施設管理者研修	
	20				
	21	法要法話		ファーストステップ研修	加来先生
	26~27			認知症介護実践者研修	
3	10				
	15	避難訓練(消防訓練)	身体的拘束等適正化検討委員会		
	17	法要法話			
	22	夜勤者対象健康診断			加来先生
	25		高齢者虐待・不適切ケアとは 令和3年度事故報告について		

*4月・1月・2月職員研修会 ⇒ 感染症拡大防止の観点から実施できず。

*法要法話 ⇒ 感染症の拡大防止の観点から隔月での開催。

*火災想定避難訓練等の自主訓練 ⇒ 感染症の拡大防止の観点から令和4年3月のみの実施。

*龍桜高等学校(医療福祉科・看護科)、加治木看護専門学校実習 ⇒ 感染症の影響で令和3年度受け入れ実績なし(先方から辞退の申し出)。

令和 3 年度 統計資料及び添付資料

<1>利用者の出身市町村別、年齢別の状況(令和 4 年 3 月 31 日現在の住所地)

n=79

年齢 出身地	性 別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男	2	1		6	2	2	1		14	52
	女		3		4	8	14	7	2	38	
国分	男							1		1	4
	女						2	1		3	
隼人町	男				1		1			2	9
	女				1	2	2	2		7	
横川町	男				1					1	3
	女					1	1			2	
牧園町	女							1		1	1
始良市	男						1			1	7
	女					1	1	3	1	6	
曾於市	男				1					1	1
湧水町	女						1			1	1
鹿児島市	女							1		1	1
計		2	4		14	14	25	17	3	79	
平均年齢				最高年齢				最少年齢			
87.4 歳				108 歳 5 月				69 歳 10 月			
男性(平均)		女性(平均)		男性(最高)		女性(最高)		男性(最少)		女性(最少)	
84.2 歳		90.6 歳		95 歳 6 月		108 歳 5 月		69 歳 10 月		70 歳 9 月	

<2>施設利用状況

事業所名		フラワーホーム			フラワーホームユニット			ショートステイ		
月	日数 (日)	日数× 50 名	入居 延べ数	稼働率	日数× 30 名	入居 延べ数	稼働率	日数× 20 名	利用 延べ数	稼働率
4 月	30	1,500	1,487	99.1%	900	900	100%	600	483	80.5%
5 月	31	1,550	1,484	95.7%	930	930	100%	620	505	81.4%
6 月	30	1,500	1,462	97.4%	900	881	97.8%	600	500	83.3%
7 月	31	1,550	1,520	98.0%	930	925	99.4%	620	566	91.2%
8 月	31	1,550	1,528	98.5%	930	929	99.8%	620	601	96.9%
9 月	30	1,500	1,485	99.0%	900	900	100%	600	549	91.5%
10 月	31	1,550	1,508	97.2%	930	927	99.6%	620	516	83.2%
11 月	30	1,500	1,423	94.8%	900	899	99.8%	600	453	75.5%
12 月	31	1,550	1,502	96.9%	930	922	99.1%	620	466	75.1%
1 月	31	1,550	1,527	98.5%	930	922	99.1%	620	515	83.0%
2 月	28	1,400	1,385	98.9%	840	833	99.1%	560	510	91.0%
3 月	31	1,550	1,517	97.8%	930	930	100%	620	557	89.8%
合計	365	18,250	17,828	97.6%	10,950	10898	99.5%	7,300	6,221	85.2%

* 小数第 2 位以下切り捨て

<3>介護度の状況

(令和4年3月31日現在) n=80

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男	0	0	2	10	8	20	4.3
女	0	0	8	26	25	59	4.28
計	0	0	10	36	33	79	4.29

<4>要介護認定更新の推移

	介護度維持	介護度進行	介護度改善	改善率
フラワーホーム	9名	3名	1名	7.6%
フラワーホームユニット	16名	0名	0名	0%
合 計	25名	3名	1名	4.0%

*令和3年度、介護保険更新認定79名中29名の結果

<5>退所状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
フラワーホーム	91歳	女性	令和3年4月14日	死亡
	94歳	男性	令和3年4月21日	死亡
	88歳	女性	令和3年4月22日	死亡
	73歳	男性	令和3年5月12日	死亡
	98歳	女性	令和3年5月12日	死亡
	85歳	女性	令和3年5月17日	死亡
	92歳	女性	令和3年5月26日	死亡
	93歳	男性	令和3年9月22日	死亡
	101歳	女性	令和3年10月5日	死亡
	93歳	女性	令和3年10月6日	死亡
	97歳	女性	令和3年10月24日	死亡
	83歳	女性	令和3年10月26日	死亡
	100歳	女性	令和3年11月10日	死亡
	92歳	女性	令和3年11月14日	死亡
	97歳	女性	令和3年11月15日	死亡
	90歳	女性	令和3年11月28日	死亡
	100歳	女性	令和3年12月15日	死亡
	95歳	男性	令和3年12月29日	死亡
	87歳	女性	令和4年3月4日	死亡(入院先)
	88歳	女性	令和4年3月26日	死亡
ユニット	94歳	女性	令和3年6月11日	自宅終末期支援
	83歳	男性	令和3年8月15日	死亡
	99歳	女性	令和3年10月1日	死亡
	92歳	女性	令和3年10月10日	死亡
	99歳	女性	令和3年10月11日	死亡
	92歳	男性	令和3年11月14日	多床室転居
【退所状況 集計】				
	退所者数		看取り介護数	施設看取り率
フラワーホーム	20名		19名	95%
フラワーホームユニット	6名		4名	80% (転居者含まず)
合計	26名		23名	88.4% (転居者含まず)

<6> 事故の状況

(種別)

転倒	転落・滑り落ち	服薬ミス	皮膚剥離	骨折・外傷	異食	その他
48	31	7	21	15		13

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
50	59	8	15	1	5	6

(発生時間帯)

深夜 0:00～4:00	早朝 4:00～8:00	午前 8:00～12:00	午後 12:00～16:00	夕方 16:00～20:00	夜間 20:00～0:00
11	16	33	47	26	12

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
86 歳 男性 (短期入所)	転倒	介護職が訪室すると、ズボンとりハビリパンツを下した状態でベッドサイドに立っていた。「足が痛くて動けない」と訴えあり。尿失禁もされていたので2名で更衣交換し、安静臥床してもらう。右股関節付近痛みあり、屈曲時や動かした時痛みあり。次の日も右股関節周辺痛み持続、整形外科受診し、右大腿骨骨折の診断、保険者に連絡。
97 歳 女性 (短期入所)	転倒	介護職がショートステイのホールにあるトイレまで付き添いドアを閉めて離れたその数秒後「ドン」という音と「痛い」と声がし戻ると、便器の前方で左側臥位で横たわっているのを発見。便器に座らせ身体観察、左大腿部の強い痛みあり。主治医指示にて整形外科へ緊急搬送。左大腿骨の骨幹部骨折の診断。保険者に連絡。
97 歳 女性 (多床室)	転倒	介護職が定時のオムツ交換行った後、ベッド柵を外した状態で。汚染したパッドなどを廊下にある台車に戻すため少しその場から離れた際、居室から「ドン」と音がした為居室を確認すると、当該利用者が床に仰向けの状態でいた。左後頭部の腫脹、左前頭部の擦過傷、左大腿部の痛みの訴え、左大腿部の皮膚の突起を確認。嘱託医の指示で救急搬送。左大腿骨骨折の診断、保険者に連絡。
89 歳 女性 (多床室)	不明	右大腿付近の痛み訴えあり、介護職・看護職で確認し腫れ、打撲痕等なし。次の日座位保持困難、右下肢強い痛み、嘱託医診察。痛み収まらなければ次の日整形受診指示あり。痛み持続の為、整形外科受診し、右大腿骨頸部骨折の診断、保険者に連絡。
80 歳 男性 (多床室)	転倒	食堂にて昼食後、椅子より立ち上がられた。職員は座コール反応で立ち上がりにつけ、すぐに駆け寄るが立たれた瞬間にバランスを崩され、左大腿部を打ち付けるように倒れた。下肢の腫脹や発赤なし、痛み訴えないが、苦痛の表情あり。嘱託医より病院受診指示あり。左大腿骨頸部骨折の診断、保険者に連絡。
93 歳 女性 (多床室)	転倒	他利用者のオムツ交換中に、当該利用者のナースコールなった。急いでオムツ装着し当該利用者の居室へ向かい、入室直前で「ゴツ」と音がした。訪室すると、ベッド右側に頭部を床に付け横たわっており、右前額部から出血しているのを発見した。介護職2名でベッド移乗し、止血を行った。嘱託医指示にて病院受診、創部4針縫合。1ヶ月位は慢性硬膜下血腫の発症の可能性があるので、様子観察必要とのこと。保険者に連絡。

85 歳 女性 (多床室)	不明	離床の為、介護職が体を触ると、右大腿部の痛み訴えあり。看護師、機能訓練士、介護職にて身体確認すると、右大腿部に熱感・腫脹・痛みを確認した。次に日も右大腿部腫脹、熱感持続。嘱託医へ報告、指示にて抗生剤点滴施行。痛み発症より 2 日後、発熱、右大腿部腫脹、熱感、痛みあり。整形外科受診し、右大腿部頸部骨折の診断。保険者に連絡。
86 歳 女性 (多床室)	転倒	食堂にて、当該利用者の前の席に座っていた入居者の食事介助を介護職が行っていた際、後ろの方で「ガシャン」と音がしたので振り返ると、食堂の出入り付近にて右側臥位で横たわっているのを発見した。すぐに駆け付け職員 2 名で車椅子へ移乗し自室へベッド臥床してもらう。前頭部を打ったと言われるが、外傷・腫脹はない。下肢痛なく打撲痕認めず。その後、夜間に両下肢の疼痛あり、歩行困難。翌日、右大腿部痛あり、体動不可。右下肢熱感あり。嘱託医より緊急搬送指示あり、右大腿骨転子部骨折の診断、保険者に連絡。

<7> 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
利用者家族 (苦情)	5 月 10 日右大腿骨頸部骨折の診断にて加治木整形外科入院となる。5 月 17 日手術施行。長男、長女より「自分達が思っていたより大きな骨折だった」「こんな痛みの中オムツ交換や体位交換をされていたのか?」「なぜ今回は痛みがわかっていた時点で病院へ連れて行ってくれなかったのか?」等話あり。家族から数点の確認事項、要望あり。家族の確認事項に対しては、後日日時を設け返答することとなった。	副園長と生活相談員より、入院までの経過や原因等の説明行う。支援に介入した看護職・介護職へ改めて聞き取りし、事実確認した。また、嘱託医へも受診までの経緯の確認を行った。後日、副園長よりご家族からの確認事項について、文書をもとに説明を行った。話の中で数点補足説明し、内容については「わかりました」と長男様より話あった。

<8> 職員数(令和 4 年 3 月 31 日現在)

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	介護支援専門員	機能訓練指導員	障害者支援員	管理栄養士	歯科衛生士	調理員	総務
1	5	1	55 (17)	6 (1)	5	1	1	2	2 (1)	5 (5)	6 (5)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 51 名中「介護福祉士」有資格者 44 名

* 看護職員 6 名中「看護師」3 名「准看護師」3 名

* 総務は洗濯、清掃、送迎業務等に従事。総務 6 名中 2 名は障害者雇用

<9>入職者数

職種 \ 年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
介護職員	2		1	1	1	1	6
(うち介護福祉士)	(2)	()	(1)	(1)	(1)	()	(5)
看護職員			1		1		2
調理員		1				1	2
計	2	1	2	1	2	2	10

<10>退職者数

性別／年代	在職期間	職種
女性 40代前半	6ヶ月	介護職(非常勤)
女性 40代前半	9年7ヶ月	介護職(正社員)
女性 50代前半	10年4ヶ月	看護職(正社員)
女性 40代後半	7年6ヶ月	介護職(非常勤)
女性 40代後半	7年8ヶ月	介護職(非常勤)
女性 40代前半	4年9ヶ月	介護職(正社員)
女性 40代前半	7年5ヶ月	管理栄養士(正社員)
女性 40代後半	4年7ヶ月	介護職(正社員)
女性 70代前半	2年6ヶ月	介護職(介護サポーター)
女性 40代後半	2ヶ月	管理栄養士(正社員)

*介護職員の令和3年度離職率 13.4% (令和3年4月1日在職者52人を分母)

令和 3 年度 事業報告

フラワーホームデイサービスセンター

【総合的な目標の総括】

ご利用者の「ゆしみ」を提供する事を一番に考え、工作の好きな人、手芸の好きな人、音楽が好きな人等に提供することが出来た。しめ縄作り、門松作りなど、ご利用者の技術を生かした活動が行えた。ご利用者の趣向は「興味・関心チェックシート」で把握する事も行ってきたが、把握する数が少なかった。令和4年度は職員全員でシートの記入や活用する方法を工夫し、ご利用者の技術を活かした活動を感染症の予防対策をしっかりと努めながら行っていきたい。また、取り組みを積極的に外部へ情報発信していきたい。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者がデイサービスに来て良かったと感じて頂けるようにケアを行ってきた。一日の始まりは自己管理練習として、①自分で血圧や体温を測定する事、②活動記録用紙の自己の記入、を継続して促している。記入する事は難しく感じるご利用者もいるが、名前だけでも書くことや一つだけでも記入する事を継続して促している。その中でもご利用者同士で教え合っている場面もみられる。例えばお茶出しや茶わんの後片付け等、自分で出来ない方にご利用者同士が気遣う場面もある。機能訓練の機器の順番をご利用者同士でトラブルがないように使用し合う事や、活動の作品作りでは「あなたはこれができそうだからお願いね」など役割分担も自然にできるようになっている。そのような集団での繋がりがご利用者同士の絆を作っていると感じる。

ご利用者の自立支援を基準に入浴介助や機能訓練も実施することができた。ハード面では浴室にヒーターを設置後ヒートショックの予防が図れ、ゆとりを持って入浴サービスを実施することができた。機能訓練では個々の機器でご利用者が積極的に運動に取り組まれている。一方、声掛けしても参加されない方には声の掛け方や工夫が必要である。ご利用者のしたい事、好きな事を把握するため、「興味・関心チェックシート」をより活用していく事で「今日は楽しかった」と思って頂き、自然と自立支援が図れていけるように努力していく。

【収益的活動】

科学的介護情報システム(LIFE)に登録し加算の取得が行えた。機能訓練加算Ⅰロを算定し収益に繋げる事が出来た。また日々の活動内容を広報紙やSNSを通じて新たなご利用者獲得に向け動くことが出来た。しかし売上げとしては予算に届かなかった。フラワーデイの特色は何かを今一度まとめ、外部にしっかりと伝える事で新規のご利用者獲得に結び付けたい。更に、現在のご利用者様の事を一番に考え、在宅生活の維持をサポートしていきたい。

【支出的活動】

記録ソフト「福祉物語」を活用し、月々の書類整理の時間が大幅に短縮できた。またその時間を「活動」の準備時間に充てることが出来た。

「デイサービス・建て替えプロジェクト」は半年ほど進行していた。浴室・トイレ・フロアーでご利用者が不便を感じる所もあるため、令和4年度も十分に議論した上で建て替えに繋げていきたい。

【地域貢献活動】

コロナ過で出来る事を行った。「活動」で雑巾を作成する事を継続し、保育園に職員が出向き寄贈した。また、廃材を利用した積み木も袋を作成し寄贈することが出来た。感染症の予防の為、出来る事、対策を考慮しながら活動を結び付けていきたい。

令和3年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームデイサービスセンター

延べ利用者数

単位：人

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	40	12	66	258	161	119	60	9	725
5月	40	12	64	233	182	112	57	6	706
6月	42	11	73	225	194	127	57	9	738
7月	50	12	74	197	227	112	62	9	743
8月	48	11	54	204	210	123	51	8	709
9月	47	22	55	218	214	145	29	21	751
10月	49	23	47	228	202	139	29	19	736
11月	46	24	50	223	211	128	50	16	748
12月	47	24	46	218	204	110	35	14	698
1月	42	19	47	192	182	98	32	11	623
2月	48	24	42	217	185	85	36	9	646
3月	39	31	53	232	232	86	48	14	735
合計	538	225	671	2645	2404	1384	546	145	8558

実利用者数

単位：人

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	9	3	13	28	19	15	5	1	93
5月	9	3	12	26	22	13	5	1	91
6月	9	3	14	26	23	14	5	1	95
7月	9	3	12	24	23	14	5	1	91
8月	8	3	9	25	23	13	6	1	88
9月	7	6	9	23	21	14	3	2	85
10月	7	6	8	26	21	14	3	2	87
11月	6	6	8	25	21	12	5	2	85
12月	7	6	8	25	22	11	4	2	85
1月	6	5	8	24	22	11	4	2	82
2月	7	6	7	24	22	10	5	2	83
3月	5	8	10	24	23	9	5	2	86
合計	89	58	118	300	262	150	55	19	1051

令和3年度 行事及び研修実績表

フラワーホームデイサービスセンター

月	行事	日	内部研修	外部研修	来園者
4	桜見物（花見） 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	12 26	ケア会議 職員研修会		
5	選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	12 26	ケア会議 職員研修会		
6	選択レクリエーション 七夕飾り作り カレンダー作成・体重測定	11 25	ケア会議 職員研修会		
7	選択レクリエーション ひまわり見学 カレンダー作成・体重測定	12 23	ケア会議 職員研修会	県老協 精神疾患と認知症研修会 オンライン 7/27 片平まゆみ	
8	夏祭り 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	12 25	ケア会議 職員研修会		
9	運動会 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	13 27 29	ケア会議 職員研修会 法人内人財育成研修会		
10	かかし祭り見学 コスモス畑見学 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	13 27	ケア会議 職員研修会		
11	選択レクリエーション 紅葉見学 カレンダー作成・体重測定	12 26	ケア会議 職員研修会		
12	正月飾り制作活動 忘年会 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	10 24	ケア会議 職員研修会	県老協 リスクマネジメント研修会 オンライン 12/14 一ノ宮敦	
1	正月遊び カレンダー作成・体重測定 選択レクリエーション	13 25	ケア会議 職員研修会	安全運転管理協議会 法定講習会 1/28 一ノ宮敦	
2	節分豆まき 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	11 25	ケア会議 職員研修会		
3	ひな祭り 花見 カレンダー作成・体重測定	11 25	ケア会議 職員研修会		

<1>登録利用者状況

	介護	総合事業(支援含)	計
4月	68	25	93
5月	67	24	91
6月	69	26	95
7月	67	24	91
8月	68	20	88
9月	63	22	85
10月	66	21	87
11月	66	20	86
12月	64	21	85
1月	63	19	82
2月	63	20	83
3月	63	23	86

<2>曜日別・月別平均利用者数(定員 45 名)

	月	火	水	木	金	土
4月	32	32	23	30	28	24
5月	30	33	25	28	28	21
6月	31	30	25	30	30	25
7月	30	28	25	27	30	26
8月	30	26	26	24	30	28
9月	31	27	29	27	30	31
10月	29	26	28	28	29	31
11月	28	29	26	28	30	32
12月	25	29	22	25	26	30
1月	22	28	21	24	27	24
2月	27	29	22	26	30	27
3月	27	31	21	27	31	29
平均	29	29	24	27	29	27

少数点第一を四捨五入

<3>介護度の状況

(令和3年3月31日現在)

性別	総合	介1	介2	介3	介4	介5	計
男	5	4	6	1	2	1	19
女	18	20	17	8	3	1	67
計	23	24	23	9	5	2	86

<4>利用者年代別状況

(令和3年3月31日現在)

70代	80代	90代	100代
7	48	30	1

<5>介護度別平均年齢状況

(令和3年3月31日現在)

性別	総合	介1	介2	介3	介4	介5	平均
全	86	86	88	92	85	89	88
男	86	87	87	85	81	96	87
女	86	82	89	92	87	81	86
最高齢 103 歳 若年齢 73 歳							

<6>要介護認定更新の推移

介護度維持	介護度進行	介護度改善	改善率
41名	13名	2名	3.5%

*令和3年度、介護保険更新認定56名の結果

<7>ヒヤリハットの状況

(種別)

転倒・転落	離設	送迎車	異物混入	その他
1	1	2	0	1

(発生場所)

ホール	和室	浴室	脱衣場	トイレ	洗面所	送迎中	玄関	屋外	その他
0	1	1	0	0	0	2	1	0	0

(発生時間帯)

朝迎え時 8:30~9:30	午前中 9:30~12:00	午後 12:00~15:45	夕送り時 15:45~16:45
0	1	2	2

<8>事故の状況

(種別)

転倒・転落	外傷	皮膚剥離	打撲	その他
13	0	0	0	2
送迎ミス	離設			
0	1			

(発生場所)

食堂ホール	浴室	脱衣場	トイレ	車
9	0	1	1	1
玄関	自宅	静養ベッド	屋外	和室
1	1	0	1	1

(発生時間帯)

朝迎え時 8:30~9:30	午前中 9:30~12:00	午後 12:00~15:45	夕送り時 15:45~16:45
2	4	6	4

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
96歳女性	転倒	普段は杖を使い自立歩行遠位見守り。浴室に向かう途中で右方にバランスを崩し右側臥位となる。右膝に発赤、苦痛表情、疼痛あり。翌日痛みがひどくなり病院受診。レントゲン検査するも骨の異常はなく経過観察となる。その後、痛み続いたためデイ利用中止後、ショートステイ利用となるが、痛みが更に続いたため別な病院を受診。右膝内血腫あり痛みのため入院となった。

<9>車両事故

物損(謝罪)	物損(補償)	自車のみ	対向車
0	0	2	0

<10>苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
上村ヨシ子 妹・熊副マサ子	髪が汚れていた。デイサービスに行った時にお風呂に入っているのか？	毎回、必ず入浴の際は洗髪を行っている。本人が特に嫌がる様子もない事を電話で連絡する。妹さんが訪問した時に頭が埃を被ったように汚れていたので不安になった様子。安心され「またよろしくお願いします」とお言葉を頂いた。
住吉ハル子 長女・	迎えに来る時間が早すぎる。9:15ぐらいと思っていたが、今朝 9:00 にと言われた。これからは 9:00 という方針なのか？	8:45 に迎えに行き、まだ準備ができていなかった為、別な利用者を迎えに行ってから 9:00 に来ると伝えた。相談員が事の説明と謝罪を行い、今後は遅めがありがたいとの事で約束し「逆にお騒がせしてすみません」とお言葉を頂いた。

<11>職員数

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	事務員
1	6 (2)	2	1	1

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 6 名中「介護福祉士」有資格者 6 名

* 看護職員 2 名中「看護師」2 名

* 機能訓練指導員は作業療法士 1 名

令和 3 年度 事業報告

フラワーホームホームヘルプサービス

【総合的な目標】

新型コロナウイルス感染症への感染対策を怠ることなく、その時の感染状況に応じて感染対策をその都度助言等頂きながら見直すことができた。利用者かつヘルパーの安全を確保しながら、在宅生活が利用者らしく過ごしていただけるように、可能な限り支援していくことができた。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

① 残存機能を活かし、少しでも自立した在宅生活が送れるよう援助する

過剰介護とならぬよう、出来る範囲のことはして頂き、声かけしながら残存機能を引き出していく。その中で、できる事への喜びや自信につながり、同時に動く意欲や楽しみを喚起するきっかけ作りができるよう支援する。

個別援助計画に沿って、支援方法の統一化をはかり過剰介護にならないようにヘルパーミーティング等で情報を共有する事ができた。

② コミュニケーションによる社会的孤立感の解消

家の中に長時間独りでいることの多い高齢者にとって、ヘルパーの訪問が孤立感の解消につながっているため、コミュニケーションを大切にしたい支援をする。

昔の利用者の話や、最近のニュース等の時事問題を把握し利用者とのコミュニケーションを図る事ができた。

③ 家族のレスパイトケア

身体介護、生活援助を通して家族の身体的・精神的な介護負担の軽減を図る。困っていることはないか、介護における助言など行い、家族との信頼関係を築いていけるようにする。

介護の経験がない利用者家族がオムツや清拭の仕方等の助言、またご家族の困っている事、気になっている事等を拝聴し、必要であれば関係各所に連絡することができた。

④ 質の高いケアの提供

ミーティングや随時情報の共有をする。勉強会では、対応を工夫しての成功例や反対にうまくいかなかった失敗例、またヒヤリハットなど介護予防につなげる為の事例を挙げて、実務に役立てることができるよう意見交換し、お互いを高め合い統一した質の良いケアが継続できるようにしていく。

ヘルパーミーティングの際、利用者の変化等の情報共有、または改善点、改善策を話し合うことができ支援方法の統一化につなげることができた。また、研修でも現場ですぐに活用できるような研修内容にすることができ、良いケアへつなげることができた。

⑤ 人材の確保策

身体介護、生活援助などヘルパー一人ひとりに合った働き方の支援

ヘルパーの健康状態の把握、家庭状況の把握等ヘルパーとコミュニケーションをとることで、そのヘルパーにあった働き方をして頂くことができた。

【収益的活動】

① 現利用者の継続的利用と新規利用者の獲得

コミュニケーションを図る中で状態変化にいち早く気づき、医療と福祉が連携することで在宅生活の維持につなげる。居宅介護事業所、地域包括支援センターとの連携を図り、新規の利用者の獲得に努める。

在宅生活の継続できるように、利用者の状態変化等の情報を共有し、体調不良時であればすぐ関係各所に連絡することができた。

また、新規利用者は居宅に声かけし獲得することができた。

② 保険外事業の提供

総合事業においては、自立支援の観点から、利用者のできる事を基本としたサービスの提供に努める。また、非該当となった利用者についても保険外の自主事業として対応し、在宅生活を支えていく。

自主事業として提供することができた。

【支出的活動】

備品購入の見直し、こまめな電源オフを心がける。

あらゆる身近なものから『もったいない』を基に節約に努める。

コピー用紙は裏紙を使用し、訪問時にはパソコンの電源を切る等の節約ができた。

【地域貢献活動】

① 地域の高齢者のサポート等

利用者宅の隣近所に住む高齢者等が困っていたら、ゴミ出しや軽微な困りごとのお手伝いをする。

利用者宅へ訪問の際、近隣の方に挨拶等を積極的に行い話やすいようにできた。

② 地域の行事参加への連絡調整

地域の行事参加（老人会、敬老会、家族会）のために利用者とその家族、及び地域の方々と日時・場所の確認などの連絡調整を行う。連絡を取り合う中で地域の方々とヘルパーの交流も図っていく。

地域の定期的な掃除等に参加することができた。

月別要介護度別利用者数一覧表

令和4年5月 作成

サービスの種類	訪問介護
事業所名称	フラワーホーム ホームヘルプサービス

(1)延べ利用者数

(単位:人)

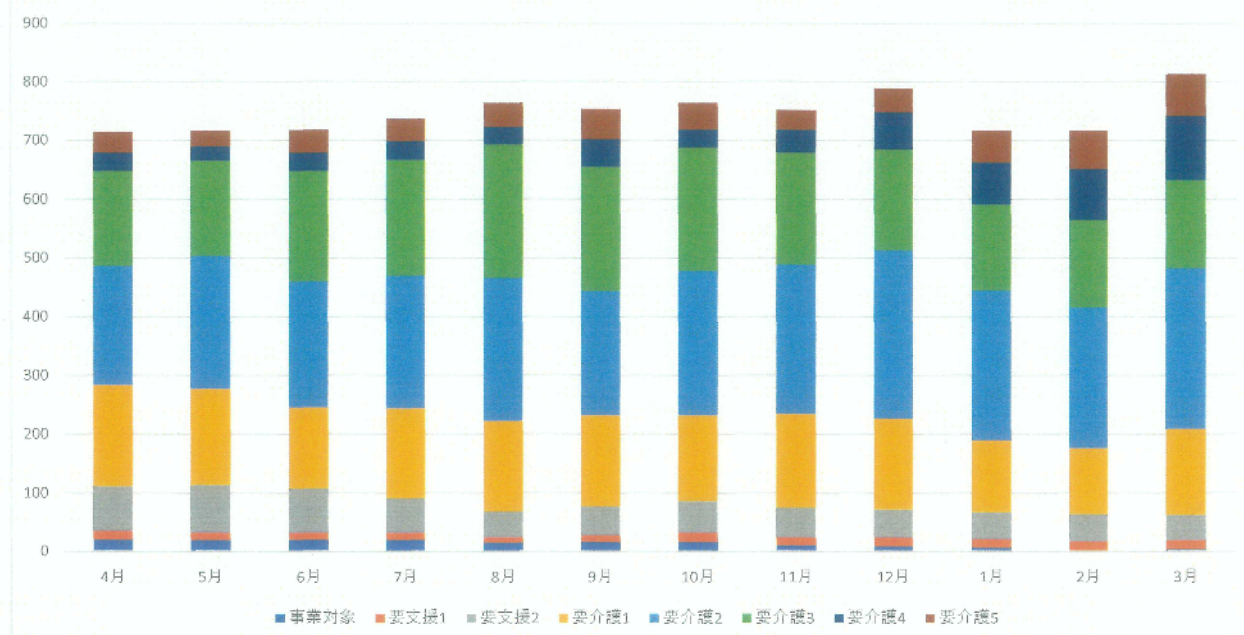
	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護保険外 の利用者数	合計
4月	20	15	76	172	203	162	30	36		714
5月	19	13	81	163	227	162	24	27		716
6月	20	12	76	137	215	188	30	39		717
7月	20	12	59	153	226	197	31	39		737
8月	15	10	43	154	244	226	31	41		764
9月	16	12	49	155	212	211	46	53		754
10月	16	16	54	146	246	209	31	46		764
11月	10	14	50	160	254	190	39	35		752
12月	8	16	47	155	287	171	64	41		789
1月	6	15	45	123	256	146	71	54		716
2月		17	46	113	239	149	87	65		716
3月	3	16	43	146	274	150	110	71		813
合計		168	669	1,777	2,883	2,161	594	547		8,799

(2)実利用者数

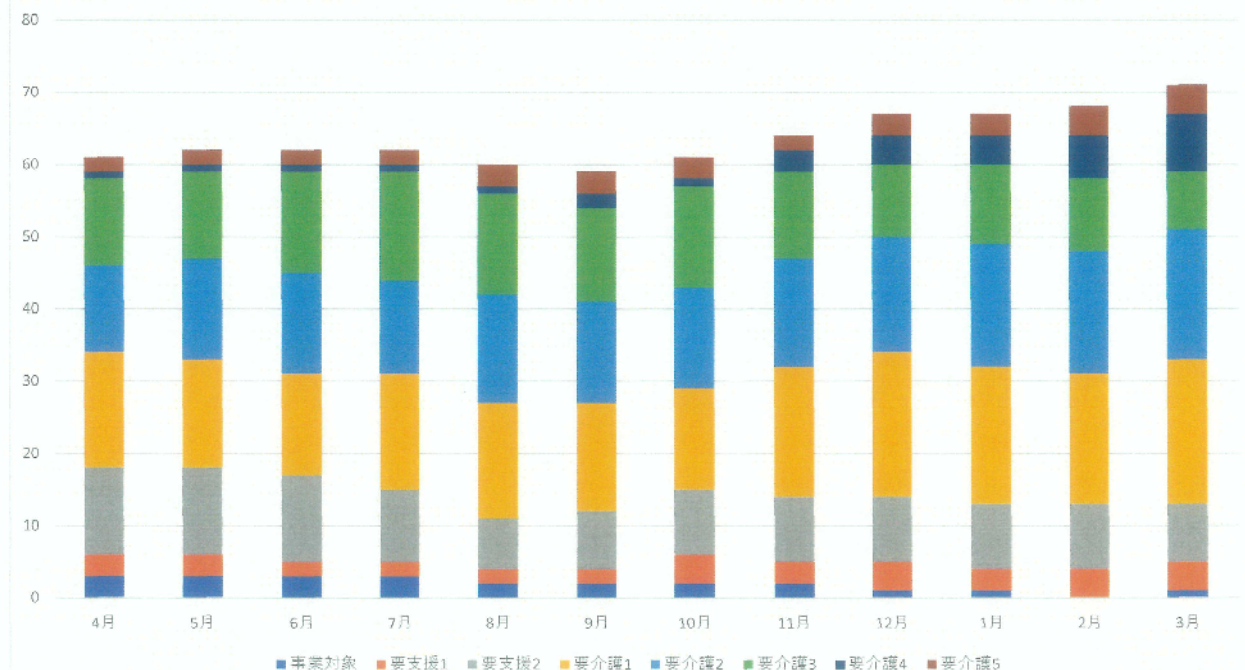
(単位:人)

	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護保険外 の利用者数	合計
4月	3	3	12	16	12	12	1	2		61
5月	3	3	12	15	14	12	1	2		62
6月	3	2	12	14	14	14	1	2		62
7月	3	2	10	16	13	15	1	2		62
8月	2	2	7	16	15	14	1	3		60
9月	2	2	8	15	14	13	2	3		59
10月	2	4	9	14	14	14	1	3		61
11月	2	3	9	18	15	12	3	2		64
12月	1	4	9	20	16	10	4	3		67
1月	1	3	9	19	17	11	4	3		67
2月		4	9	18	17	10	6	4		68
3月	1	4	8	20	18	8	8	4		71
合計	23	36	114	201	179	145	33	33		764

(1) 延べ利用者数



(2) 実利用者数



令和3年度 行事および研修実績表

フラワーホーム ホームヘルプサービス

月	日	行事・研修	研修項目	研修内容
4	13 27	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	接遇について	接遇マナー・言葉遣いについて
5	11 25	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	認知症の理解と対応について	認知症状の症状・対応について
6	8 22	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	調理のしかた	減塩調理・治療食・介護食について
7	12 26	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	熱中症・脱水予防	熱中症の症状、対応について
8		感染防止の為中止		
9	14 28	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	介護事故発生防止	ヒヤリハットの事例による対応の検討
10	12 26	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	感染症予防	新型コロナ感染症について 感染予防方法・訪問時の対応について
11	9 23	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	個人情報・プライバシーの保護	個人情報の取り扱いについて
12	7 28	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	口腔ケア	安全な口腔ケアを行うために 義歯洗浄の正しい方法
1	11 18	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	褥瘡の理解と予防・排泄ケア 感染対策について	褥瘡の知識、予防方法、オムツの当て方 新型コロナウイルス感染症対策について
2	2	ヘルパーミーティング 書面上でのミーティング		
3	15	書面上でのミーティング		

* 外部研修については、今年度も新型コロナウイルス感染症の感染予防の為参加は控えた。

* 新型コロナウイルスの感染予防で密になってしまうため、ヘルパーミーティングをやむを得ない場合もあった。
その際は、書面（個人情報の為配布は不可、ヘルパー室内にて掲示）にて連絡事項・利用者状況の報告・連絡等を行った。

令和3年度 事業報告書

居宅介護支援事業所

【総合的な評価】

令和3年度も新型コロナウイルス感染症により、各事業所、予防や対応にと業務負担が増えた年度であった。当事業所においても、職員一名が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者と認定されリモートワークへ切り替えを行い、慣れないオンライン環境での業務を行った。感染症のBCP対策として事前に対策を講じていた為に迅速に業務の切り替えは行えたが、御利用者様の状態把握(モニタリング)が電話や家族からの聞き取りとなり不足する部分が多く感じた。感染症対策も勿論であるが、独居高齢者や日常的な支援が必要な利用者様への対応については、事前の対策だけではなく日頃からの支援が重要であると感じた一年であった。

昨年の報告でも行いましたが、霧島市ケアプラン点検事業の委託先である「株：くもと健康支援研究所」が実施しているケアプラン点検事業へ各介護支援専門員のサービス計画書に対して点検を受けました。

当事業所においては霧島市の平均評価値より基本事項、アセスメント、第4―6表の部分で高く評価を頂きましたが第1―3表に関しては平均値より少なかった為に今年度においてはケアプランに対する研修を定期的に行い、御利用者様が住み慣れた自宅で少しでも長く生活出来るように支援を行っていきます。

収入面では過去実績に比べ増額となり、令和2年度実績と比較し約24万円であった。体調不良による入院や施設入所に伴う登録者の減少があったが新規利用者の相談も多くあり増額となった。上記にも記述をしたが体調不良や施設入所になる前の予防として介護支援専門員が行える支援や多職種との連携を丁寧に行い在宅生活期間の長期化を目標にして収入面においても安定化を目指していく。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

- ・令和3年度は主任介護支援専門員2名 介護支援専門員2名体制での支援を行った。
- ・加算の条件である週1回の事例等の研修や他事業所を介護支援専門員の資質向上を目標に合同研修を行った。

【収益活動】

- ・霧島市地域包括支援センターが開催している、あしたば会 みやま会の研修を定期的に参加し他居宅介護支援事業所との連携を図る。
- ・コロナ禍においても各病院のソーシャルワーカーや退院支援看護師との連携を継続する。

【支出的活動】

- ・新型コロナ禍の感染予防対策に必要な備品の購入。

【地域貢献活動】

- ・コロナ禍により地域の行事も中止され、地域行事等に参加したりすることは出来なかった。
- ・事業所周辺等は常に清掃を心掛け、玄関前には四季の花作りを行った。
- ・毎朝、事業所前を掃除し地域の子供達や近隣住民への挨拶活動を実施する。

令和3年度居宅研修報告書

	内部研修		外部研修
4月5日 12日 19日 26日	・インフォーマルサービス ・介護報酬改定内容について ・介護サービス計画内容改定 ・事例検討	4月14日	・始良伊佐介護支援専門員協会主催 【介護報酬改定に関する研修】
5月4日 10日 17日 25日 日	・ケアプラン検討 ・援助者としての資質について ・コロナ感染症について ・ケアプラン点検事業について		
6月2日 7日 14日 21日	・食中毒について ・高齢者虐待について ・高齢者虐待予防について ・自己、ヒヤリハットについて	6月16日	・霧島市包括(あしたば会)主催 【高齢者の栄養ケアについて】
7月1日 6日 12日 22日 29日	・身寄りのない方への支援 ・プライバシー保護について ・事例検討 ・介護支援専門員倫理綱領 ・新型コロナセミナー研修内容の振り返り	7月16日 7月17日 7月30日	・霧島市包括(あしたば会)主催 【若年性認知症支援について】 ・鹿児島介護支援専門員協会主催 【介護保険制度に係る研修】 ・鹿児島県重症難病医療ネットワーク主催 【難病、栄養管理の重要性について】
8月2日 10日 20日 26日	・ACPについて ・高齢者鬱症状について ・集団指導内容について ・リモートワークの振り返り	8月2日	・霧島市主催 【令和3年度 霧島市集団指導】
9月1日 6日 16日 22日	・人生の最終段階の意思決定 ・キューブラー・ロスの死の受容(前編) ・ACPについて(後編) ・BCPについて合同研修	9月15日 9月30日	・あしたば研修会 【霧島市の健康長寿と社会保障】 ・介護支援専門員協会主催 【適切なマネジメント手法】
10月4日 12日 19日 25日	・認知症及び認知症ケア研修 ・権利擁護 高齢者虐待研修 ・意思決定支援の必要性 ・権利擁護研修 伝達	10月18日	・霧島市包括主催(権利擁護) 【自己決定によるカウンセリング手法】
11月1日 8日	・あしたば研修(9/15 研修伝達) ・事例研究の意義について	11月1日	・霧島市主催 【みまもりあいプロジェクト研修】

15 日 26 日	・ハラスメント対策研修報告 ・事例検討	11 月 12 日 11 月 13 日 11 月 23 日	・介護労働安定センター主催 【ハラスメント対策研修】 ・介護支援専門員協会主催 【生活支援記録法(F-SOAIP)について】 ・介護支援専門員協会主催 【多職種合同研修】 ・快護生活フェス研修
12 月 3 日 7 日 13 日 22 日 27 日	・事例研究 ・快護生活フェス研修伝達(1) ・事例検討 ・介護報酬改定(処遇加算) ・事例検討と事例研究の違い		
1 月 7 日 11 日 17 日 24 日	・認知症についての理解 ・新型コロナウイルスについて ・介護保険の今後について ・快護生活フェス研修伝達(2)		
2 月 1 日 8 日 14 日 21 日	・成年後見制度についての理解 ・多様なニーズへの対応 ・権利擁護の種類の方法 ・日常生活支援事業(コロナ支援)	2 月 9 日	・霧島市主催 【介護事業所改善率向上 PFS 事業に係る説明研修会】
3 月 1 日 8 日 15 日 23 日 28 日	・ACP の基礎知識(地域、在宅) ・在宅看取り ターミナルケア ・内服に関する支援と副作用 ・介護保険制度の改正点 ・居宅利用者アンケートの実施と意見内容について	3 月 22 日	・霧島市包括主催(みやま会)研修 【事例研究 地域での支援】

令和3年度月別利用者実績人数

単位:人

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4月	5	20	52	33	22	7	6	145
5月	5	18	49	39	20	7	5	143
6月	4	20	48	40	20	7	5	144
7月	4	19	47	41	23	10	5	149
8月	4	18	48	43	22	11	4	150
9月	4	19	48	41	24	8	6	150
10月	5	18	51	41	22	11	6	154
11月	5	17	49	40	16	10	5	142
12月	5	17	47	42	16	11	5	143
1月	3	17	46	40	16	12	5	139
2月	3	16	44	41	15	12	5	138
3月	5	16	45	42	15	11	5	139
合計	52	215	574	483	231	117	62	1734

令和3年度居宅介護支援月別状況

単位:人

	新規	入院	入所	死亡
4月	5	2	1	0
5月	1	3	1	0
6月	5	3	0	1
7月	7	4	1	5
8月	3	4	1	1
9月	7	2	1	2
10月	3	3	9	1
11月	2	4	1	0
12月	4	1	2	0
1月	0	0	3	1
2月	0	0	3	1
3月	3	0	0	1
合計	36	68	15	13
月平均	3.3	2.25	1	1.08

令和3年度 事業報告

地域包括支援センター

【総合的な目標の総括】

令和3年度は、相談実績が134件あり、介護保険やサービス、施設についての相談に関するものが79件であった。その内32件は介護保険申請を行い、必要な支援へ繋げている。相談対応に伴う訪問や状態把握が必要な方の訪問を468件行っている。高齢者虐待や困難事例として2件の個別地域ケア会議を開催した。精神疾患を伴う対象者もあり、警察、行政などと連携を図り対応を行った。

高齢者に留まらず、障害者や子供など世代を超え世帯単位での支援が必要な世帯もあり、各関係機関と連携を図りながら支援を行った。

平成30年度より旧市町村単位で開催してきた家族介護者交流会は、コロナウイルスの影響にて昨年度に続き開催出来なかった。今年度も開催を検討しており、感染対策を考慮しながらの開催を検討すると会場とオンライン併用でのハイブリッド式での開催が望ましいと思われる。

地域の事業所との連携、強化を図る目的である地域ネットワーク推進会議についても、コロナウイルスの影響にて開催することが出来なかった。溝辺の居宅間の研修に参加させて頂き、連携強化に努めた。介護保険事業者やライフサポートワーカーとの顔の見える関係作りが行えるように連携を図っていききたいと思う。

民生委員との連携については、定例会を通じて顔の見える関係作りや情報交換を行っており、定期的に民生委員からの相談があり相談件数も増えてきている。今後も民生委員との連携を図っていききたい。

資質向上に関しては、業務連絡会やオンラインでの外部研修に参加することで、知識向上を図った。

令和3年度 行事及び研修実績表

地域包括支援センター

月	日	行事	日	内部研修	日	外部研修
4	13 15	民生委員定例会 養護入所判定会	8 26	事業所情報連絡会 職員研修会		
5	11 12 17 21	ワーキング サービスCケア会議 家裁調査員面談 包括業務連絡会	13	事業所情報連絡会	19 20	霧島市ケアマネ会あしたば 県包括・在介定期総会講演会
6	18	包括業務連絡会	1 9 11 25	理事会 新入職員オリエンテーション 事業所情報連絡会 職員研修会	26	保険者機能強化支援事業研修
7	8 13 16	CMミーティング 民生委員定例会 包括業務連絡会	9	事業所情報連絡会		
8	12 17 20	個別地域ケア会議 民生委員定例会 包括業務連絡会			26	「身寄り」がなくても安心して暮らせる 共生のまちを目指して
9	14 17 22	民生委員定例会 包括業務連絡会 溝辺居宅合同研修	9	事業所情報連絡会	15	霧島市ケアマネ会あしたば
10	15 19 21 26	包括業務連絡会 民生委員定例会 養護入所判定会 みやま会	14	事業所情報連絡会	12~13 18 20	高齢者虐待防止研修 権利擁護研修 県地域包括・在介職員研修
11	9 9 10 16 19	メモリカフェ 個別地域ケア会議 溝辺居宅合同研修 民生委員定例会 包括業務連絡会	11	事業所情報連絡会	1 17 17	みまもりあいプロジェクト研修会 霧島発 地域の絆(AM) 県地域包括・在介研修(PM)
12	13 14 17 21	CMミーティング 民生委員定例会 包括業務連絡会 虐待検討会議	13 27	事業所情報連絡会 法人感染対策委員会		
1	6 13 18 21 25	虐待検討会議 CMミーティング 民生委員定例会 包括業務連絡会 みやま会	25	法人感染対策会議	24	おもいやりネットワーク事業研修
2	15 18	民生委員定例会 包括業務連絡会	3 15	法人感染対策会議 事業所情報連絡会	8 17 25	霧島市介護度維持改善率向上PFS 事業に係る説明会及び研修会 鹿児島県介護予防従事者等研修会 包括主催CM研修会
3	10 15 18 18 22	CMミーティング 民生委員定例会 包括業務連絡会 世帯ケース会議 みやま会	11 11 24	事業所情報連絡会 理事会 評議員会		

令和 3 年度 事業報告

小規模多機能ホームふもとの家

【総合的な目標の総括】

三者の喜び「関わる人みんなが笑顔で地域に暮らし続けるために私達はここにあります」
令和 3 年度はこの事業所理念である三者の喜びをモットーに、ふもとの家を利用される皆様が笑顔いっぱいの家庭的な環境の中で、いつまでも住み慣れた地域の中、住み慣れた家で生活し続けられるように支援していく。当然のことではありますが、敢えてご利用者一人ひとりに向き合うことを目標として掲げました。

4 月から 1 年間、月に 1～2 回 30 分間のカンファレンスを継続し実施することができました。ひもときシートを活用しスタッフのそれぞれ持っている情報を共有し達成できる目標とアクションプランを決めスタッフ全員で意識して取り組むことができました。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者ケアにおいて、令和 3 年度は「本人の思いを実現する」「個別支援を充実」を掲げて取り組んできました。「目の前のご利用者にとって今が大切。感染症が収束したらやろうでは何も出来ないし、後悔することになる」という思いから個別カンファレンスを継続的に実施しました。目標と実施内容を具体的に決定、実践し次回のカンファレンスで評価をスタッフみんなで行ってきました。自宅での生活の継続、歩行維持等、時に訓練や管理になりがちですが、ご利用者と我々スタッフも楽しく取組めること、達成できることを大切にしてきました。

また、今年度は事業所での看取り、そして、お葬儀・納骨までさせて頂きました。私達の仕事は出逢いがあり当然お別れもあります。最期をどこでどのように迎えたいのか、本人の意思を尊重し、そのまま叶えられることが私達の誇りにもなります。ふもとの家を選んで頂き、最後の最後までお付き合いさせて頂いたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

しかし、一方でご利用者の入院も多かった一年でした。入院理由としてはご本人の疾患によるものもありましたが、事業所内における骨折もありました。また、職員の退職者は 2 名。体調不良で欠勤せざる得ない職員もいました。それに伴い、職員一人ひとりに負担がかかったり、ご利用者の状態変化への気づきが疎かになってしまうこともありました。気持ち的に焦ってしまい、慌ただしく職員が動き回ることでご利用者にも話しかけづらい状況があったのも事実だと思います。

リスク管理、予後予測の共有等、ケアの質やチームケアの課題が明らかになった一年でもありました。業務の洗い出しや 1 日の流れの見直し等、次年度スタッフと共に話し合い、改善を図ります。

【収益的活動】

今年度は前年度と比較して、収入は増加しました。しかし、年間を通してみると増減の差も大きく見られました。小規模多機能サービスは、包括報酬である為、御利用者の入院・入所で大きく変化します。また、小規模多機能サービスは要支援の方からご利用できることも大きな特徴です。従って、御本人・ご家族と長くお付き合いできます。スタッフ一同、御利用者との出逢いに感謝し、診療所・ご家族と連携をはかり最期まで安心してお付き合いできる事業所として信頼されるよう努力したいと感じる一年でした。それが、安定した収益、運営にも繋がると思います。

【地域貢献活動】

ふもとの家と地域の方々との交流の場でもある「お茶ったもんせ」は地域の方から要望は常に頂いていましたが感染予防対策の為、実施することはできませんでした。

しかし、ご利用者が育てくださった野菜の収穫を近隣の保育園に来てもらい行いました。また、ここ数年恒例になっているご利用者の方のしめ縄作りを霧島市内の小規模多機能事業所のご利用者、スタッフさんに伝授する機会をつくることができ新たな交流となりました。

まだまだ、地域の方をお願いして、事業所に来て貰っての地域交流となっています。

そして、今年度は特に介護サポーターの方には沢山支えて頂きました。ご利用者の方への食事の配膳、食事介助、室内の清掃や消毒、ご利用者のお話相手等々、私達が行き届かないところを支えて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。今後は、事業所からご利用者、スタッフ共に地域に出向いていって貢献できる活動も行っていくことも必要だと感じています。

令和3年度 月別介護度別利用実績一覧表

小規模多機能ホームふもとの家

延べ利用者数

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	2	26	60	349	126	100	60	723
5月	28	26	62	306	139	118	62	741
6月	30	43	77	293	163	118	60	784
7月	31	51	86	329	145	122	61	825
8月	31	26	124	333	143	107	34	798
9月	30	26	99	318	107	115	57	752
10月	31	27	71	276	93	87	41	626
11月	30	30	105	263	90	90	30	638
12月	31	31	149	271	92	107	31	712
1月	31	37	165	182	93	117	62	687
2月	28	41	176	154	84	108	56	647
3月	31	45	192	217	62	151	62	760
合計	334	409	1366	3291	1337	1340	616	8693

実利用者数

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	1	1	2	12	5	4	2	27
5月	1	1	2	11	5	4	2	26
6月	1	2	3	10	6	4	2	28
7月	1	2	3	11	6	4	2	29
8月	1	1	4	11	5	4	2	28
9月	1	1	4	11	4	4	2	27
10月	1	1	3	10	3	3	2	23
11月	1	1	4	9	3	4	1	23
12月	1	1	6	9	3	4	1	25
1月	1	2	8	8	3	4	2	28
2月	1	2	8	7	3	4	2	27
3月	1	2	7	8	2	5	2	27
合計	12	17	54	117	48	48	22	318

令和3年度 行事及び研修実績表

小規模多機能ホームふもとの家

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	8 13 18 21 28 30	照明保育園児交流 野草の天ぷら作り カボチャ植え 誕生会 から芋苗植え 照明保育園児交流	4/26 小規模多機能型居宅介護について 4/5・9・23 認知症ワークショップ	4/23 勇美財団事業セミナー「高齢者の感染～新型コロナウイルス感染症」	照明保育園児
5	2 6 10 11 12	玉ねぎ収穫 ちまき・柏餅作り ドライブ(パラ園) から芋植え 味噌作り	5/25 基本的な介護技術に関する研修	5/28 勇美財団事業セミナー「高齢者の呼吸器感染～新型コロナウイルス感染症～」	照明保育園児
6	2 25・26 25	梅干し作り しその葉摘み・塩もみ 誕生会	6/25 認知症及び認知症ケアに関する研修	6/18 勇美財団事業セミナー「ウイルス感染症と免疫」 「新型コロナウイルスのPCR検査について」 6/24 務島ロレドノロンエイト研修	
7	15 22 25 26	照明保育園児交流 うどん作り 誕生会 スイカ割り	7/26 健康管理や薬の効能に関する研修(糖尿病について)	7/8 勇美財団事業セミナー「看護現場からのメッセージ」 7/27 精神疾患と認知症研修 7/31 新型コロナ時代のリスク管理研修	照明保育園児
8	7 9・10 21・22・28 29	ソーメン流し ドライブ(ひまわり) 栗拾い そば植え	8/25 利用者の尊厳の実践的展開に関する研修	8/6 勇美財団事業セミナー「コロナ体験から考える介護現場これからとこれから」 8/19 務島ロレドノロンエイト研修 8/23 見守り合いプロジェクト外研修	
9	11 13 18	花植え 栗拾い 誕生会	9/27 介護記録の書き方に関する研修	9/7～9/10 9/11～9/18 認知症介護実践者研修 9/17 務島ロレドノロンエイト研修	
10	3 4・24・28 7 9 16 17 25 30	大根葉漬物作り から芋掘り ドライブ(山田の家山子) 味噌作り・たけちゃん一足見学 ドライブ(そばの花) ドライブ(コスモス) 誕生会・もつ鍋パーティー 芋掘り遠足	10/25 身体拘束に関する研修	10/19・20 認知症介護実践者研修 10/21・22 小規模多機能型サービス計画作成担当者研修	
11	2 3 8 9 13 14 20 21	そば団子作り・玉ねぎ苗植え 芋こんにやく作り 味噌作り から芋掘り 干し柿作り ドライブ そば刈り 誕生会	11/25 非常災害時の対応に関する研修		
12	4 6～25 9 14 20 23 25・29 28 31	そば落とし 門松・しめ縄作り じゃがいも収穫 こんにやく作り クリスマス・誕生会 お遊戯会(照明保育園交流) 絵馬作り 餅つき そば打ち	12/24 感染症及び食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修		照明保育園児 ボランティア
1	1 6・9 11 13・17 22 12	元旦 おとそ・写真撮影 絵馬作り ぜんざい作り 大根収穫 誕生会 高菜漬物作り	1/25 プライバシー保護の取り組みに関する研修		
2	1 10 19 20 27	ホットケーキ作り 雑巾作り そば団子作り 誕生会 キャベツ収穫	2/25 介護技術について学ぶ福祉用具のデモンストレーション		
3	25 26 28 30 31	誕生会・味噌作り 回転寿司 味噌作り・ドライブ 散髪 花見	3/25 身体的拘束等の排除のための取り組みに関する研修		

令和 3 年度統計資料及び添付資料

<1> 利用者の出身市町村別、年齢別の状況

(令和 4 年 3 月 31 日現在の住所地)

出身地	年齢	性	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
		別										
溝辺町		男	0	1	2	1	3	0	0	0	0	21
		女	1	1	2	2	1	7	0	0	0	
隼人町		男	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
横川町		男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
		女	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
牧園町		男	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福山町		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		女	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
計			1	2	4	4	4	12	0	0	27	
平均年齢 85.2 歳				最高年齢 94 歳 11 月				最少年齢 67 歳 4 月				
男性 83.0 歳				男性 91 歳 2 月				男性 73 歳 1 月				
女性 86.4 歳				女性 94 歳 11 月				女性 67 歳 4 月				

<2> 施設利用状況

事業所名		ふもとの家	
月	登録定員	登録者数	稼働率
4 月	29	27	93.1%
5 月	29	26	89.6%
6 月	29	28	96.5%
7 月	29	29	100%
8 月	29	28	96.5%
9 月	29	27	93.1%
10 月	29	23	86.2%
11 月	29	23	79.3%
12 月	29	25	79.3%
1 月	29	28	96.5%
2 月	29	27	93.1%
3 月	29	27	93.1%
合計	348	318	91.3%

* 小数第 2 位以下切り捨て

<3>介護度の状況

(令和4年3月31日現在)

性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男	1	1	3	2	1	0	1	9	1.75
女	0	1	4	6	1	5	1	18	2.46
計	1	2	7	8	2	5	2	27	2.22

<4>契約解除状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
ふもとの家	91歳	女性	令和3年4月30日	入院
	89歳	男性	令和3年4月30日	デイ
	86歳	男性	令和3年7月4日	入院
	68歳	女性	令和3年8月3日	死亡
	96歳	女性	令和3年9月9日	入院
	90歳	女性	令和3年9月17日	入所
	90歳	女性	令和3年9月27日	入院
	86歳	女性	令和3年10月7日	死亡
	65歳	男性	令和3年10月11日	入院
	87歳	女性	令和4年1月19日	入院
	82歳	女性	令和4年2月6日	入院
退所者数			看取り件数	
11			2	

<5>新規利用者状況

	介護度	年齢	性別	登録日
ふもとの家	介護2	80歳	男性	令和3年4月1日
	介護3	87歳	男性	令和3年4月11日
	支援1	76歳	男性	令和3年5月2日
	介護3	86歳	男性	令和3年6月1日
	介護1	80歳	女性	令和3年6月14日
	支援2	83歳	男性	令和3年6月14日
	介護1	92歳	女性	令和3年11月1日
	介護1	81歳	女性	令和3年12月9日
	介護1	91歳	男性	令和3年12月13日
	介護1	82歳	女性	令和4年1月18日
	支援2	87歳	男性	令和4年1月18日
	介護1	71歳	女性	令和4年1月18日
	介護2	76歳	男性	令和4年3月12日

<6>事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	誤飲	離園	その他
22	6	1	5	3	0	4	6

(発生場所)

ホール	畳部屋	居室	浴室	脱衣所	トイレ	屋外	その他
20	5	11	4	2	0	4	1

(発生時間帯)

深夜帯 0:00～4:00	早朝帯 4:00～8:00	午前中 8:00～12:00	午後 12:00～16:00	夕方 16:00～20:00	夜間 20:00～0:00
0	4	20	17	4	2

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
87歳 女性	転倒	令和4年1月2日 3:15 頃隣人よりフラワーホームに「隣よりガタガタ大きな音がする」と連絡ありフラワーホーム宿直者が確認しに行くとき家の中から「大丈夫です」と返答されるが心配であった為ヘルパーへ連絡する。ヘルパー2名にて訪問すると「あまり調子が良くないみたいなの」と話され下半身には何も身につけておらず部屋の中は異臭が漂っていた状態であった為、ふもとの家へ連絡。5:50 ふもとの家職員が訪問し声を掛けると中から「はい開けます」と声が聞こえ扉の前まで来られる気配がし、その後バランスを崩され扉の奥で転倒。直ぐに立ち上がり鍵を開けてくださるも左額に1cmの裂傷と左前腕部に表皮剥離あり暫く止血処置を行う。トイレにはパット類が散乱し便器には下痢便が付着。ズボンの後ろからは尿拭りパッドが大きくはみ出し、せん妄状態であった為暫く話を聞き車へ誘導。歩行時両膝を痛がられており数回立ち止まりようやく乗車される。医師へも状態報告しフィジオ(500)1本点滴開始。ふもとの家にて宿泊対応。歩行時ふらつきあり1月3日医療センター受診にて左大腿頸部骨折との診断を受け入院となる。

<7>職員数

(令和4年3月31日現在)

管理者	計画作成担当者	看護職員	介護職員
1	1	1	12 (4)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 12 名中「介護福祉士」有資格者 8 名

* 看護職員 1 名中「正看護師」1 名